

千葉の園芸

発行所 千葉市中央区市場町 1-1
公益社団法人千葉県園芸協会
連絡先 043 (223) 3005
毎月 1 日発行
平成 27 年 1 月号



平成 27 年の新春を迎えて



公益社団法人千葉県園芸協会
理事長 間 渕 誠 一

新年、明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

会員の皆様方には、日頃、本県の園芸振興に多大なる御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

千葉県は、温暖な気候と大消費地である首都圏に位置する立地条件にも恵まれ、全国トップクラスの農業県として発展を遂げてまいりました。

中でも、野菜や果樹、花きなどの園芸農業は、米や畜産などを含める農業産出額全体の約半分を占める大変に重要な基幹部門となっており、これは、生産者の高い技術力と関係各位の不断の努力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

さて、農業を取り巻く環境は、農産物の価格低迷が続く中、生産者の高齢化や担い手不足などが進み、生産力が弱体化するなど、大変に厳しい状況にあります。

このような中、昨年 4 月、産地間競争に打ち勝ち、千葉県農業の活性化を図るため、機能強化した新たな園芸協会がスタートいたしました。

新たに取り組む生産振興対策の大きな課題は、産地間連携を強化し、「オールちば」体制を築くことです。

現在、主要品目であるネギ、トマト、にんじん、さつまいもの 4 品目について、生産拡大、品質の向上はもとより、販売戦略の合意形成を図りながら、多様なニーズに対応できる産地間の連携を目指し、その推進に努めております。

また、野菜価格補償事業や青年農業者等育成センター、6 次産業化サポートセンターを設置するなど、関係法令に基づいた農政の推進にも積極的に取り組み、農家経営の向上に努めます。

さらに、国の農政改革の主要事業である農地中間管理事業については、生産の基盤となる農地を担い手に集め、効率的な農業経営を促進するため、今後とも関係機関と連携し農地集積を推進していきます。

今年も、各種事業には積極的に取り組んでまいりますが、農業県“ちば”の維持、発展のため、関係者の皆様にはより一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

終わりに、皆様方の御健勝、御活躍、そして本年が実り多き年となることをお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。